

平成29年度自主研究グループ

くろほね☆はいらんど

- | | |
|---------|--------------|
| ▶ 坂村 麻希 | 黒保根支所市民生活課 |
| ▶ 小林 文恵 | 〃 |
| ▶ 金井 誉子 | 〃 |
| ▶ 矢島 智之 | 〃 |
| ▶ 小曽根哲平 | 〃 |
| ▶ 岩上 昌樹 | 黒保根支所地域振興整備課 |
| ▶ 武政 亨 | 〃 |
| ▶ 澤浦 朋枝 | 〃 |



黒保根地域のブランド化について

～高原の持つブランドイメージを黒保根に～

平成29年度桐生市職員自主研究活動報告
チーム名「くろほね☆はいらんど」

荒神山から
望む黒保根町

ブランドとは何か

- ・「ブランド」とは、顧客に自らの提供物を識別してもらい、かつ、他者の提供物と区別してもらうための手段
- ・品質を保証し、あるいは、価値の提供を約束することで顧客との関係性を取り結ぶ手段

ブランド化とは何か

- ・意識的な差異化によってユニークな特徴を生み出し、その意味や価値を伝えることによって、顧客に選択され続ける仕組みをつくり出すこと。

【対象例】工業製品、農産物、サービス及び場所

黒保根の紹介 その1

■桐生市の北西で、赤城山の麓に位置しており、
最近の話題では、「旧赤城山鋼索鉄道赤城山頂駅
駅舎及びプラットフォーム」が国の登録有形文化財に
登録されました。

■面積: **101.50** km²
(内、森林部88.41km²、総面積の87.1%)

■人口: **1,954**人 (891世帯、高齢化率⁴ **43.4%**)

黒保根の紹介 その2

地図



鉄道を利用する場合

浅草駅

相老駅

水沼駅

東武鉄道特急約1時間50分 わたらせ渓谷鐵道約25分

車を利用する場合

北関東自動車道「太田藪塚IC」から約30分

黒保根の紹介 その3

■有名な食べ物

➤ 干しいも	『やまびこ』で販売
➤ そばすいとん	道1グランプリ特別賞
➤ 米	くろほの栗
➤ 豚肉	町内に「やまと豚」の牧場
➤ 新鮮野菜	『やまびこ』等で販売
➤ 水	水源村宣言

黒保根の紹介

その4

観光・あそび

わ鐵	わたらせ溪谷鐵道 紅葉
つつじ街道	4・5月
山	荒神山・赤城山・栗生山
梨木の氷柱	12～3月
温泉	梨木温泉 水沼駅温泉センター
キャンプ場	花見ヶ原 利平茶屋
国の登録有形文化財	・旧赤城山鋼索鉄道赤城山頂駅駅舎及びプラットフォーム ・わたらせ溪谷鐵道橋梁及びトンネル
地域おこし協力隊	宮木源 隊員 北條早 隊員

黒保根町内施設の利用者状況 1

国道 **122**号線沿い

くろほねやまびこ

やまびこでは新鮮野菜が買えます！

水沼駅温泉センター

温泉センターでは温泉に入れます！

黒保根町内施設の利用者状況2

山の中

* 平成28年度観光入込客 延べ人数

利平茶屋キャンプ場

営業期間 5月～10月（6ヶ月間）

5,206人

月平均 **868**人

花見ヶ原キャンプ場

営業期間 5月～9月（5ヶ月間）

約 **3,887**人

月平均 **777**人



国道沿いの施設等にと比べると・・・

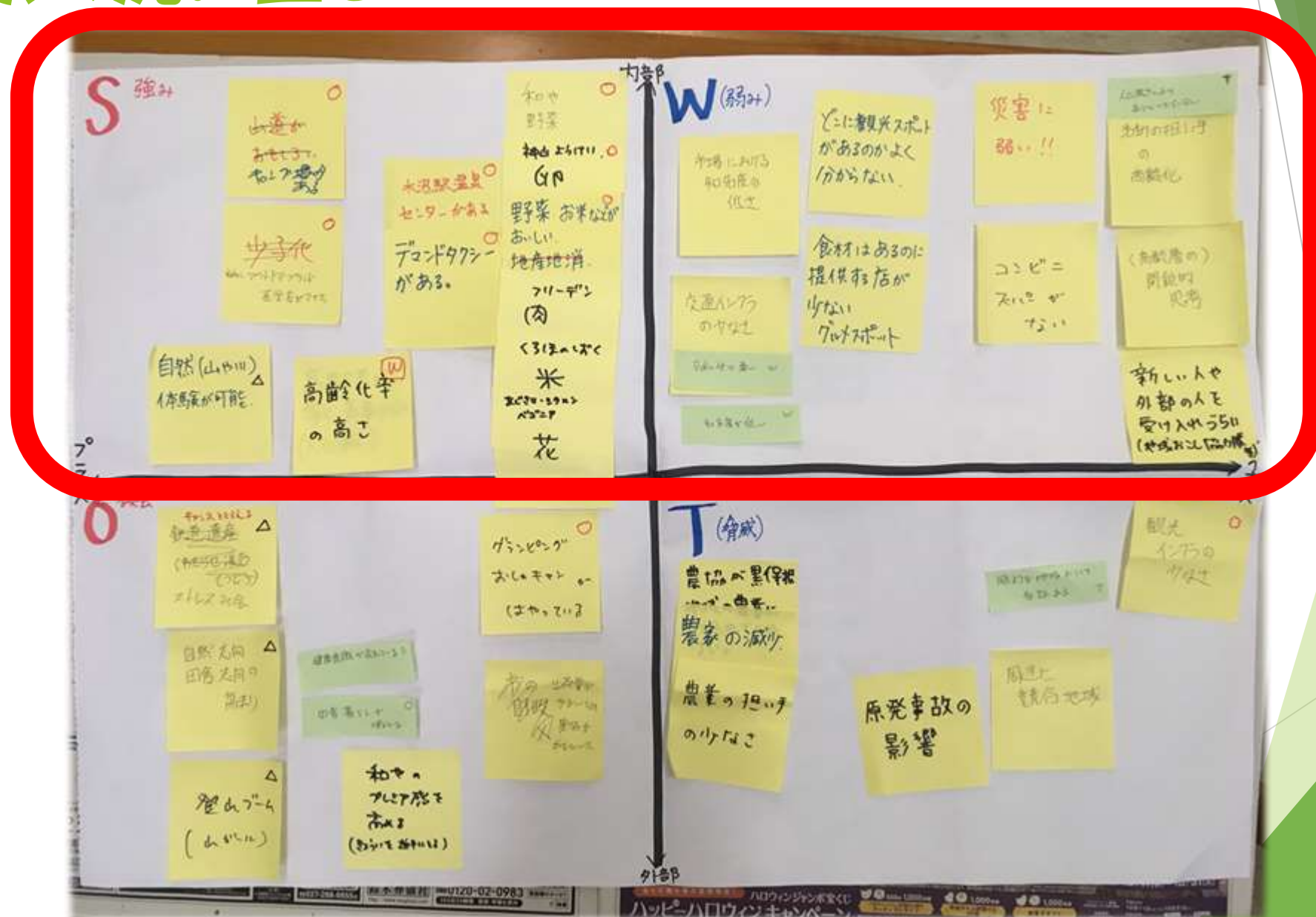
キャンプ場は1/10近くに・・・

やはり日光への通り道なのか・・・

黒保根にはいい所がいっぱいあるのに・・・

ならば
黒保根の現状を
分析しよう！

現状の洗い出し



すると・・・こんな感じに

S

強み

**自然体験可能
新鮮野菜・米**

W

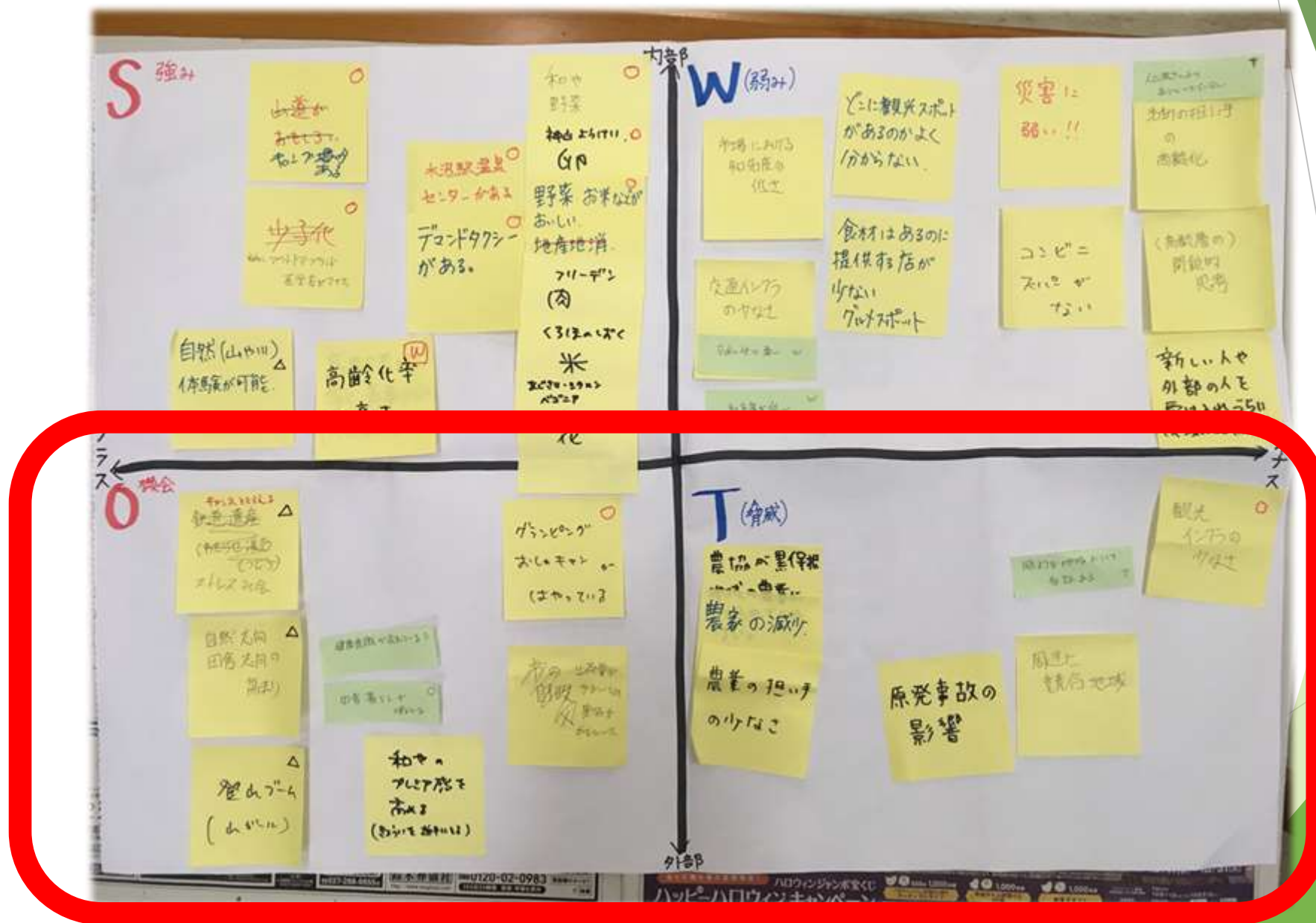
弱み

**交通インフラ
市場での知名度が低い**



じゃあ
世の中はどんな状況
なんだろう！

現状の洗い出し



すると・・・こんな感じに

0

追い風

登山ブーム
グランピングがはやっている

T

逆風

観光インフラ
農家の減少

黒保根の強みと
世の中の追い風
うまく利用できないかな？

追い風

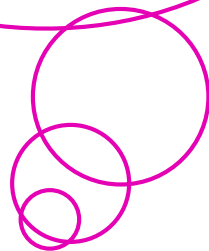
登山ブーム

グランピング

強み

自然体験可能

新鮮野菜



花見ヶ原キャンプ場 改め

『くろほね高原キャンプ場』

にリノベーションしよう!!!

なぜ、
キャンプ場なのか？

なぜ、キャンプ場なのか？

旧市内・新里町内にもない稀有な存在

黒保根町の**強み**だから



なぜ、花見ヶ原キャンプ場なのか？

▶ 抜群のロケーション

標高1,200mに位置し、「雲の上のキャンプ場」とも呼ばれている同キャンプ場は、すべて国有林で「自然観察教育林」に指定されており、原生林を損なわず自然の環境を生かした森林公園は、黒保根の軽井沢と称されるほど夏の清涼は素晴らしい。

▶ 歴史的なロマン

現地までの林道は、古道「会津裏街道」の道跡が走り、尊皇「高山彦九郎」も足跡を遺しているなど、歴史的なゆかりも秘めている。

▶ 自然を満喫

キャンプ場を囲むように1周4kmほどの遊歩道が整備されており、シーズンを通して自然を楽しむ。

具体的に
どんなことをしたら
良いだろう？

強み・追い風を生かし
3つの作戦を考えました！

作戦その1

地元野菜のマルシェ

作戦その1

- ① 月1回の高原マルシェを開設！
予約制BBQ用**食材セット**販売しよう！
～地元農家等と連携～



作戦その1

② 黒保根高原農園の開園（6月～8月） **新鮮**といたて野菜が食べ放題！！



作戦その2



**iTQiで3年連続
三ツ星獲得！**



世界が認める 「日本の豚」を提供

※iTQiは、ベルギーに本部を置く、「食品のミシュランガイド」とも言われている国際味覚審査機構。
審査員は一流シェフやソムリエが務め、全ての審査はブラインド方式で行われます。

作戦その2

黒保根の豊かな自然のなかで
フリーデンの豚は飼育されている。



梨木牧場



タカナラ牧場



日本の豚
やまと豚

作戦その2



銀座本店



南青山店



横浜ランドマーク店



① 高級店でも提供されているやまと豚を
黒保根の大自然で食べたい！



予約制でキャンプ場へ配達

作戦その2

② 気に入ったらお取り寄せやお土産に！
～ 黒保根産のお肉を全国へアピール ～



作戦その3

弱みの解消

駅からバスでらくらく

作戦その3

○ 水沼駅とキャンプ場の間を …

黒保根町デマンドタクシーを使おう！
→好きな時刻でらくらく乗車♪

1回1人300円
* 町内限定



作戦その3

● 多人数の場合は …

団体用の車両を別運行(事前予約制)！
→一度にみんなであっくらく乗車♪

※平成29年度(4月末～9月末)
⇒5団体(73人)の事例あり

作戦その3

◎ 例えば・・・桐生駅から4人で出発！現地でお酒を飲んでBBQ

【自家用車】

所要時間：およそ1時間(32km)

費用：ガソリン代 $150\text{円} \times 6\text{L} = 900\text{円}$

代行：7,000円～8,000円

合計最大9,000円程度

【電車・デマンドタクシー】

所要時間：およそ1時間

費用：電車往復1,040円 + デマンド往復600円 $\times 4\text{人} = 6,560\text{円}$

比較すると運転しないのに、費用はおよそ3割もお得！

作戦の効果と今後の課題

▶ 地元の野菜マルシェ

【効果】黒保根の野菜が新鮮で美味しいと知ってもらうことができる。

【課題】事前に食材を用意されないような情報発信が必要となる。

▶ 世界が認める「日本の豚」を提供

【効果】ここなら食べられるというプレミアム感を持たせることができる。

【課題】事前に食材を用意されないような情報発信が必要となる。

▶ 駅からバスでらくらく

【効果】現地での交通インフラを解消できる。

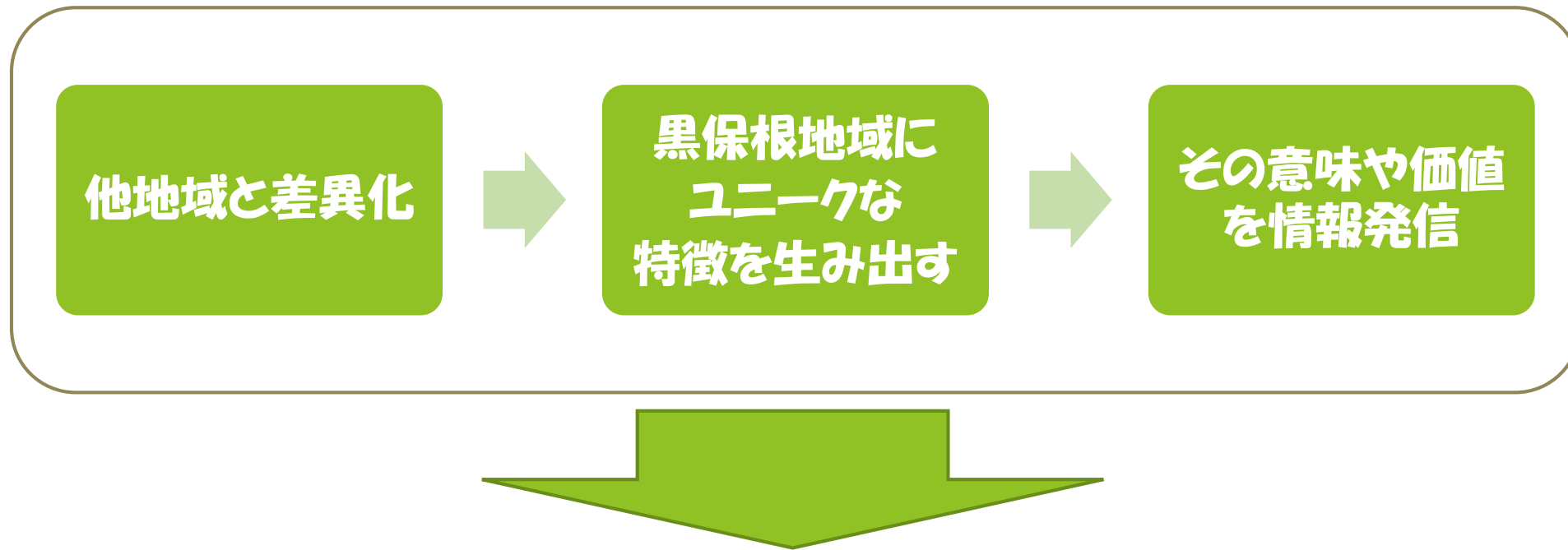
【課題】混雑時の台数の問題

強みを生かす

弱みを解消

まとめ

3つの作戦実行により…



☆黒保根地域をブランド化☆

ご清聴ありがとうございました